

卒業要件

	文情	理工	生命	スポーツ	心理	GC	GR	ILA
(1) 外国人留学生が、日本語科目を履修した場合について、第2外国語としての取り扱いになりますか？	第2外国語の取り扱いとなる。	第2外国語の扱い。	第2外国語の扱いとなる。	「外国語科目振替願」を提出し、教務主任の承認が得られた場合にのみ、第2外国語としての取り扱いとなる。	「外国語科目免除願（正規留学生用）」を提出のうえ、教務主任の判断による。認定される場合がある。		<p>●英語型を選択した外国人留学生は日本語科目が初修外国語として算入される。</p> <p>■初修型を選択した外国人留学生は日本語科目は初修外国語に算入されないが、「その他の言語」として選択必修科目C群の卒業要件単位には算入される。</p>	第2外国語の扱いにはならない。
(2) 第2外国語の取り扱いになる場合、卒業要件として、日本語科目は、何単位修得が必要ですか？	4単位	4単位	4単位	4単位必要。	4単位		10単位以上	
(3) 第2外国語の取り扱いになる場合、日本語科目はカリキュラムにおいて、どの分類になりますか？	F群（2023年度以前生） H群（2024年度以降生）	B群II類	B群II類	F群（外国語教育科目）	選択科目III（英語以外）		選択必修科目C（外国語関連科目）群	
(4) 卒業要件を超える単位の日本語科目を履修した場合の取り扱い。その場合、カリキュラムにおいて、どの類（群）の取り扱いになりますか？	認められる F群（2023年度以前生） H群（2024年度以降生）	B群（選択科目群）の単位として含めることができる。	卒業単位として認められる B群II類	F群（教養関連科目）	「選択科目II」の単位として認められる		卒業要件である10単位を超過した分は、そのまま選択必修科目C群に上乘せされる。	日本語科目は選択科目として取り扱われる。
(5) 日本語科目を履修する際の注意事項	特になし	卒業要件として「日本語1、2」※1において、4単位修得した場合のみ第2外国語の「入門I・II」を履修したものとみなす。 例) 「中国語入門I」2単位、「日本語1」2単位の履修では卒業要件を満たさないので注意。 ※1 ビジネス日本語C・Dを含む	特になし		「外国語科目免除願」を必ず提出期間内に提出すること。遅れ提出は認めない。 心理学部では「英語」か「英語以外の外国語」で学生が選択し、認定する。個人の都合により、成績取得後に「英語」から「英語以外の外国語」へ変更したい旨を申し出てきても受付できない。最初の提出時に間違いがないか確認したうえで提出すること。		<p>■初修型を選択した外国人留学生が日本語科目を履修した場合、日本語科目以外に英語と初修外国語を必ず履修する必要があるため注意が必要。</p>	科目登録後、レベルの変更があった場合は、必ずILA事務室に連絡すること。

毎年
以降生

2016
～2023
年
以降生

日本語
卒業要件

日本語
科目概要

カリ
キュラム
ポリシー